

かみさと



学校教育目標

豊かな心もち

他のために行動できる子

やさしく かしく

たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ

㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

令和2年9月1日(火) 9月号

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006 さいたま市岩槻区上里2-2

TEL048-794-2316

2年生のときの忘れられない出来事①

校長 梶山 崇

本日から9月がはじまりました。まだまだ暑い日が続いています。先週の引渡し訓練では、暑い中にもかかわらず、ご協力いただきありがとうございます。災害は起きてほしくないですが、いざというときのための体制を確認しておくことはこれからも必要であると思います。ありがとうございました。

さて、今月は私が2年生の頃のことについて、紹介させていただきます。私のような子ども時代を送っても、社会人として何とか生活することができています。ほんの少しでも何かの参考になればと思い、書かせていただきました。

私が小学校2年生の5月頃のことです。私は1年生までは母の手をいつも握っているような子どもでしたが、2年生になり、よくも悪くも私は自立しました(と記憶しています)。私は飽きっぽかったのですが、好奇心旺盛でいろいろなことに興味をもつ子どもでした。あるとき急に植物を育てたくなりました。そこで無理やり母にお願いをして、何かの植物の種(何の植物の種か忘れてしまいました)と植物の育て方の本を買ってもらいました。その日から4~5日くらいは、自分で熱心に観察日記をつけていましたが、いつの間にかやめてしまいました。正直言って、そのあとどうなったのか覚えていません。おそらく母からはそんなに叱られなかったと思います。また、私にとって怖かった父からも叱られた記憶はないので、もしかしたら父は知らなかったのかもしれませんが。結局、植物を育てることについては3日坊主で終わってしまいました。

また、少したってから小さなプラスチックの水槽で、フナを飼い始めました。植物のときと同じく、最初は毎日、観察日記をつけてフナの世話を熱心に行っていました。しかし、いつものくせで、次第に飽きてきて、水槽の水も母から言われて換える有様でした。ある日のこと、水槽の水がずいぶん濁っていることに気が付きましたが、「明日、水を換えればいいや」と思い、そのまま寝てしまいました。

次の朝、濁った水の中で、フナは死んでいました。そのときのフナの様子は今でも鮮明に覚えています。私は子ども心にも本当にひどいことをしたと思い、一人で泣きました。「あのフナはどんなにか苦しかったのだろう。本当にぼくはひどいことをした。」それ以来、生き物を飼うときは気を付けるようになりました。もしもそのフナにどこかで会えるなら、許されることではないですが、謝りたい気持ちでいっぱいです。特にこの出来事は今でも忘れることはできません。2年生の頃のことについては、そのほかにもいくつか印象的な出来事があります。折を見て、また紹介させていただきます。

今月も本校の教育活動にご支援をよろしくお願いいたします。